

Adobe Firefly が新しいモバイル版、マルチメディアムードボード機能、そして拡張された AI モデルでクリエイティブなアイデア創出を革新

- AI を活用したアイデア創出、制作、仕上げまでをオールインワンで実現する Adobe Firefly モバイル版が登場。クリエイターは外出先でも自由にアイデアを探求することが可能に
- Adobe Firefly ボードは高度な動画、画像生成および編集ツールを提供しクリエイティブチームのアイデア創出と共同作業のあり方を変革。
- アドビのパートナーモデルエコシステムが拡大：OpenAI の GPT-Image-1 モデル、Google の Imagen と Veo、Black Forest Labs に加え、Ideogram、Pika、Runway、Luma の各モデルが新たに追加
- Adobe Firefly モバイル版は、単体でも Adobe Creative Cloud アプリの一部としても利用可能で、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Premiere などのアプリとのシームレスな連携も実現

※当資料は、2025 年 6 月 17 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2025 年 6 月 18 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、AI を活用したコンテンツのアイデア創出、制作、仕上げまで、ワンストップで行える [Adobe Firefly](#) の大幅な機能拡張を発表しました。これにより、Adobe Firefly の画像および動画生成機能がモバイルでも利用できるようになり、クリエイターは AI を活用して、どこからでも自由にアイデアを探求し、画像や動画を生成、編集できるようになります。新しい Adobe Firefly モバイル版は、本日より [iOS および Android 向け](#) に提供が開始されます。Adobe Firefly の web 版とモバイル版は、単体でもアイデア

創出の体験として利用可能で、Adobe Creative Cloud アプリとシームレスに同期することで、プロジェクトの継続性を確保し、アイデア創出から制作までのクリエイティブワークフロー全体を効率化することができます。さらに、Adobe Firefly web 版の一部として、パブリックベータ版が提供されている [Adobe Firefly ボード](#) には、AI を搭載したムードボードに動画機能を追加し、クリエイティブチームのアイデア創出とコラボレーションのあり方を変革します。クリエイティブプロフェッショナルは、AI を活用した動画、画像編集機能を活用して、様々なメディアを横断し、アイデアを探求、反復することが可能になります。そして、アドビの生成 AI モデルのエコシステムも拡大しています。OpenAI、Google、Black Forest Labs の image and video モデルに加えて、Ideogram、Luma AI、Pika、Runway のモデルが追加となり、クリエイターに、さまざまな美的スタイルを探求する柔軟性を提供します。

Adobe Firefly モバイル版は、クリエイターが様々なメディアタイプにわたるアセットを生成し、比類のないクリエイティブコントロールを備えたひとつのアプリ内で様々な AI モデルを試し、コンセプトを反復しコラボレーションを行い、シームレスに制作フローに組み込むことを可能にします。例えば、クリエイターはアップロードされた参照画像のスタイルや構成を反映する「**スタイル参照**」や「**構成参照**」を使用して画像を生成したり、「**生成拡張**」「**生成削除**」「**生成塗りつぶし**」機能により、画像の拡張や、ブラシを使って不要物の除去もしくは新しい要素をペイントしたりしてアセットを編集したり、複数のモデルを組み合わせることで作品のさまざまなバリエーションを探求したり、生成した画像を動画に変換したりすることが可能で、これらは全て、アプリ内で完結させることが可能です。今月下旬にはテキストプロンプトからアバターやサウンド効果を生成、自分の音声を使った「**オーディオクリップとビデオクリップの同期**」といった新機能も追加される予定です。

アドビのシニア バイス プレジデント兼最高技術責任者 (CTO) であるイーライ グリーンフィールド (Ely Greenfield) は、次のように述べています。「クリエイターたちは Adobe Firefly 上で、当社およびパートナーモデルを活用し、多様性と芸術性あふれる画像、動画、グラフィックス、デザインを生み出し続けており、私たちは常々驚かされています。私たちの目標は、web とモバイルの両方から、業界を代表する優れた生成 AI モデルにアクセスできる、最も包括的なクリエイティブ体験を実現することです。アイデアの創出から、制作、編集までの体験を1つの統合された環境で提供します。」

新しい Adobe Firefly モバイル版を iOS と Android で提供開始

Adobe Firefly モバイル版を使えば、クリエイターはテキストプロンプトを使ってどこからでも簡単に画像や動画を生成したり（「**テキストから画像生成**」、「**テキストから動画生成**」）、画像を動画に変換したり（「**画像から動画生成**」）、人物や不要な標識などを追加または削除したり（「**生成塗りつぶし**」）、画像のサイズを拡張し AI 生成によって新しいエリアを補完する（「**生成拡張**」）ことができます。クリエイターは、Adobe Firefly ファミリーの生成 AI モデル、OpenAI の Image Generation、Google の Imagen 3 および 4、そして Veo 2 および 3 を活用して、様々なコンセプトを探求することができます。Adobe Firefly で作成したコンテンツは、自動的に Adobe Creative Cloud アカウントと同期され、モバイルで開始したプロジェクトを web 版や Adobe Photoshop、Adobe Premiere Pro といったデスクトップアプリに簡単に引き継ぐことができます。

Adobe Firefly は新たに、Adobe Photoshop、Adobe Lightroom、Adobe Express といった、アドビの成長を続けるモバイルアプリエコシステムに新たに追加されました。これらのアプリは、アドビの世界クラスのデスクトップアプリと同様の技術基盤を採用しているため、クリエイターは外出先でも簡単にソーシャルコンテンツ、プレゼンテーション資料、印刷物など、すぐに使えるプロ品質のコンテンツを制作することができます。

Adobe Firefly ボード：AI 搭載のムードボード作成ツールがクリエイティブチームのコラボレーションを促進

現在パブリックベータ版として提供されている Adobe Firefly ボードは、クリエイティブチームが複数のメディアを用いて、アイデアの探求、そして数百ものコンセプトの共同作業を同時に行える全く新しいツールです。Adobe Firefly ボードの AI 搭載のムードボード作成ツールに、動画機能が新たに追加されたことで、クリエイティブプロフェッショナルはアップロードされた動画クリップのリミックスや、商用利用可能な Adobe Firefly Video Model をはじめ、Google の Veo 3、Luma AI の Ray2、Pika 2.2 のテキストから動画機能を活用できるようになりました。

また、Adobe Firefly モデルやパートナーモデルを用いた画像生成に加え、クリエイティブチームは Adobe Firefly ボードの AI 機能を活用し、Black Forest Labs の Flux.1 Kontext や OpenAI の画像生成機能を用いて、対話型テキストプロンプトから取得した画像に反復的な編集を加えることも可能です。

Adobe Firefly ボードの実際の動作は、[こちら](#)でご覧いただけます。

Adobe Firefly の生成 AI モデルエコシステムがさらに拡張、比類なきクリエイティブ柔軟性を提供

アドビは Adobe Firefly のエコシステムに新たなパートナーを迎え、OpenAI、Google、Black Forest Labs に加えて、Ideogram、Luma AI、Pika、Runway のモデルも統合しました。これにより、クリエイターが多様な美的スタイルやメディアに対応できる柔軟性を提供します。これらの新モデルは、まず Adobe Firefly ボードで利用可能で、今後 Adobe Firefly アプリ全体に展開される予定です。

今年 4 月には、OpenAI の Image Generation、Google の Imagen 3 と Veo 2、Black Forest Labs の Flux 1.1 Pro を導入しました。本日の追加を発表した、Black Forest Labs の Flux.1 Kontext、Ideogram の Ideogram 3.0、Luma AI の Ray2、Pika2.2 のテキストから動画機能、Runway の Gen-4 Image、そして Google の最新の Imagen 4 および Veo 3 モデルにより、クリエイターはより柔軟に選択できるようになりました。これらのモデルは、アドビの包括的な Adobe Firefly モデルファミリー（画像、動画、音声、ベクターに対応）と併せてご利用いただけます。

コンテンツクレデンシャルによる透明性とクリエイティブ権利

透明性を確保し、クリエイターの権利を保護するため、Adobe Firefly は AI を使って生成したコンテンツに自動的にコンテンツクレデンシャルを付与し、コンテンツの作成に使われたのが Adobe Firefly モデルなのか、または特定のパートナーモデルなのかを明確に示します。これにより、クリエイターはより多くのツールと選択肢を活用でき、アイデア創出、共同作業、そして高品質なコンテンツをシームレスかつ自信を持って制作できるようになります。アドビは、クリエイティブコミュニティに根ざしたアドビの伝統と、クリエイターに対する敬意に基づき、業界で最もクリエイターに寄り添った AI アプローチを採用しています。私たちの生成 AI に対する取り組みの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

Adobe Firefly の勢いは加速中

世界中のクリエイターが Adobe Firefly の生成 AI モデルを活用し、これまでに 240 億点以上のアセットを作成しています。Adobe Firefly Image Model 4 でリアルな画像を生成し、Adobe Firefly Image Model 4 Ultra を使用して高精度なディテールを実現しています。また、業界初の商用利用可能な Adobe Firefly Video Model では画像やテキストプロンプトから 1080p の動画を生成、Adobe Firefly Vector Model を搭載した「ベクターを生成」を使って新しいロゴをデザインするなど、様々な用途で活用されています。四半期ごとに Adobe Firefly へのトラフィックは 30%以上増加し、有料サブスクリプションはほぼ倍増しました。また、Adobe Firefly によって、アドビエコシステムに参加する新規ユーザーは継続的に増加しており、新規サブスクリプション登録者数は前四半期比で

30%増加しています。

価格と提供状況

Adobe Firefly の最新機能はすべて、Adobe Creative Cloud サブスクリプションのお客様にご利用いただけます。

Adobe Firefly モバイル版は、本日より iOS および Android に対応し、[App Store](#) および [Google Play Store](#) からダウンロードいただけます。

Adobe Firefly ボードは Adobe Firefly web 版の一部としてパブリックベータ版としてご利用いただけます。各プランの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.